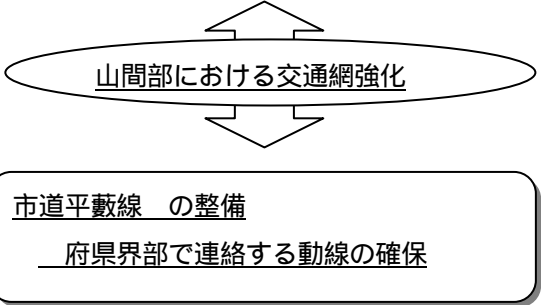


地域再生計画変更申請新旧対照表 (1/5)

頁	変更前	変更後
P 4 14行目	4 地域再生計画の目標 3) 地域再生の目的 【安全・安心】 ・山沿いの横断的な迂回路として、地域内の住民の災害発生時の緊急輸送等のライフライン機能を発揮する。	4 地域再生計画の目標 3) 地域再生の目的 【安全・安心】 ・山沿いの横断的な迂回路として、地域内の住民及び地域間における災害発生時の緊急輸送等のライフライン機能を発揮する。
P 4 19行目	【活力】 ・各農地や林地へのアクセスを向上させ、これらの自然資源の保安全管理活動を容易とすることにより、地域資源の活力(生産力)を向上させる。	【活力】 ・各農地や林地へのアクセスを向上させ、これらの自然資源の保安全管理の効率を高め活動を容易とすることにより、地域資源の活力(生産力)を向上させる。
P 4 33行目	(目標2) ・森林ボランティアの展開(0人 H22年: 50人)	(目標2) ・森林ボランティアの展開(0人 H22年: 80人)
P 5 4行目	(目標3)市道の連結による交通アクセスの改善による生活利便性向上や災害発生時の緊急輸送路等の確保。 ・広域農道周辺住宅地から主要道路へのアクセス時間の2割短縮(18分→15分)	(目標3)市道の連結による交通アクセスの改善による生活利便性向上や災害発生時の緊急輸送路等の確保。 ・広域農道周辺住宅地から主要道路へのアクセス時間の2割短縮(18分→15分) ・平藪地区から木材総合センターへの運搬時間の1.5割短縮(56分→49分)
P 5 30行目	4) 主な関連計画 ・河内長野市第3次総合計画 河内長野市は、ふるさと農道の走る地域を環境共生ゾーンとして、農地・丘陵緑地としての土地利用を基本として、環境と共生しながら、都市活力を高め、市民福祉の向上につながる機能を配置するとしている。	4) 主な関連計画 ・河内長野市第3次総合計画 河内長野市は、ふるさと農道の走る地域を環境共生ゾーンとして、農地・丘陵緑地としての土地利用を基本として、環境と共生しながら、都市活力を高め、市民福祉の向上につながる機能を配置するとしている。 ・河内長野市森林整備計画 河内長野市は、本計画により滝畑ダム等の集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺など、水源かん養機能の発揮を重視すべき森林として水源かん養機能等維持増進森林として位置付けし、樹根及び表土の保全に留意し、林木のおう盛な成長や下層植生の発達を確保するため、適切な保育・間伐等を促進するとともに、必要に応じて土砂の流出・崩壊を防止する施設等の治山施設を整備する。

地域再生計画変更申請新旧対照表 (2/5)

頁	変更前	変更後
P 6 25行目	<p>5 目標を達成するために行う事業 (5-1) 全体の概要 さらに、「国道170号の天野地区」と「広域農道の日野地区」を結ぶ「市道天野山日野線」及び府道加賀田片添線と広域農道の唐久谷を結ぶ「市道唐久谷線」を整備することにより、市街地からの交通アクセスが改善され、天野、加賀田、日野地区の地域生活の利便性が向上するとともに、一般車輛の交通の円滑化を促進し、地域住民及び通行車輛の安全性の向上が図れるといったメリットがある。</p>	<p>(5-1) 全体の概要 さらに、「国道170号の天野地区」と「広域農道の日野地区」を結ぶ「市道天野山日野線」及び府道加賀田片添線と広域農道の唐久谷を結ぶ「市道唐久谷線」を整備することにより、市街地からの交通アクセスが改善され、天野、加賀田、日野地区の地域生活の利便性が向上するとともに、一般車輛の交通の円滑化を促進し、地域住民及び通行車輛の安全性の向上が図れるといったメリットがある。</p> <p>それに加え、大阪府と和歌山県との府県界にある市道平藪線の整備を行うことにより、脆弱な府県界の山間部における交通道路網を強化し、山間部における交通ネットワークを確立することによって、林業及び森林保全の効率を向上させるとともに、林業従事者などの人的交流を図り地域の再生を促進する。</p>
P 7 上の図中		
P 7 5行目	<p>市道については、昭和59年4月1日に市道認定を受け、市の認定路線となっている。</p>	<p>市道天野山日野線、唐久谷線については昭和59年4月1日に、市道平藪線については平成16年4月1日に市道認定を受け市の認定路線となっている。</p>
P 8 10行目	<p>(5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>道整備交付金を活用する事業</p> <p>【事業期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道 (平成17年度～19年度) 事業認定日 (昭和59年4月1日) <p>【整備量及び事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備量 総延長 L=9.875km 市町村道 L=0.475km 事業費 総事業費 3,347,500千円 (うち交付金 1,673,750千円) 市道 126,800千円 (うち交付金 63,400千円) 	<p>(5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業</p> <p>道整備交付金を活用する事業</p> <p>【事業期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市道 (平成17年度～20年度) 事業認定日 (昭和59年4月1日、平成16年4月1日) <p>【整備量及び事業費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備量 総延長 L=11.075km 市町村道 L=1.675km 事業費 総事業費 3,469,700千円 (うち交付金 1,734,850千円) 市道 249,000千円 (うち交付金 124,500千円)

地域再生計画変更申請新旧対照表 (3/5)

頁	変更前	変更後
P 9 20行目	<p>(5-3) その他の事業 関連事業 ・基盤整備促進事業「日野地区」H13～H17 農業生産基盤の整備を行い、農空間の持つ環境 保全、防災、交流などの多面的機能を活かし、都 市と共生した地域づくりを推進する。 事業内容：ほ場整備 7.7ha</p>	<p>(5-3) その他の事業 関連事業 ・基盤整備促進事業「日野地区」H13～H17 農業生産基盤の整備を行い、農空間の持つ環境 保全、防災、交流などの多面的機能を活かし、都 市と共生した地域づくりを推進する。 事業内容：ほ場整備 7.7ha</p> <p>・仮称「たきはたふるさと文化財の森センター」 建設事業 H17～H18 河内長野市の自然・森林資源を生かし文化財建 造物の保存の為に必要な原材料のうち、山野から 供給される木材、桧皮、茅、漆などの植物性資材 の安定的確保に関わる技能者を育成し、またこの 資材や技能を通じて文化財の保存と活用に関す る普及啓発施設を整備することを目的とする。 事業内容：滝畑民族資料館の改修（民家棟、展 示棟、資料棟）茅の保管倉庫の建築</p> <p>・光滝寺キャンプ場整備事業 H17～H18 河内長野市の南部地域の観光拠点である滝畑 地域のキャンプ場等を訪れる人はもとより、森林 保全や自然保護などの目的でこの地域を訪れる 人々が広くこの施設を利用し地域活動が行える よう、地域活性化のための施設整備を目的とす る。 事業内容：休憩所建設(屋上を駐車場として利用) 約600㎡駐車台数30台建設 上水道及び下水道の整備</p>
P 15 全体		<p>(別紙5) 仮称「たきはたふるさと文化財の森センター」 建設事業(概要)</p> <p>1 事業目的 河内長野市の自然・森林資源を生かして、文化 財建造物の保存の為に必要な原材料のうち、山野 から供給される木材、桧皮、茅、漆などの植物性 資材の安定的確保に関わる技能者を育成し、また この資材や技能を通じて文化財の保存と活用に関 する普及啓発施設を整備することを目的とす る。</p> <p>2 事業計画概要</p> <p>(1) 事業内容 滝畑民族資料館の改修（民家棟、展示棟、 資料棟）茅の保管倉庫の建築</p> <p>(2) 事業工期：平成17年度～平成18年度 (3) 事業費：97,619千円 (4) 施行場所：河内長野市滝畑 (5) 事業主体：河内長野市 教育委員会事務局 社会教育課</p>

地域再生計画変更申請新旧対照表 (4/5)

頁	変更前	変更後						
P 1 6 全体		<p>(別紙6)</p> <p>光滝寺キャンプ場整備事業(概要)</p> <p>1 事業目的</p> <p>河内長野市の南部地域の観光拠点である滝畑地域のキャンプ場等を訪れる人はもとより、森林保全や自然保護などの目的でこの地域を訪れる人々が広くこの施設を利用し地域活動が行えるよう、地域活性化のための施設整備を目的とする</p> <p>2 事業計画概要</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>休憩所建設(屋上を駐車場として利用)約600㎡ 駐車台数30台建設 上水道及び下水道の整備</p> <p>(2) 事業工期:平成17年度~平成18年度</p> <p>(3) 事業費 : 81,566千円</p> <p>(4) 施行場所:河内長野市滝畑</p> <p>(5) 事業主体:河内長野市 環境経済部 クリーンセンター環境事業グループ</p>						
P 1 8 図中	<p>市道天野山日野線(L=315m) 67,000千円</p> <p>市道唐久谷線(L=160m) 59,800千円</p>	<p>市道天野山日野線(L=315m) 53,600千円</p> <p>市道唐久谷線(L=160m) 45,400千円</p> <p>市道平藪線(L=1,200m) 150,000千円</p>						
P 1 9 表中	<p>(2) 地域再生計画の工程表</p> <p>ふるさと農道(河内長野市岩湧地区広域農道)・市道・林道の整備</p> <p>市道・・・国道・府道から広域農道までを結ぶ市道2線(計約0.475km)</p> <p>*事業年度</p> <p>市道:平成17年度~平成19年度</p>	<p>(2) 地域再生計画の工程表</p> <p>ふるさと農道(河内長野市岩湧地区広域農道)・市道・林道の整備</p> <p>市道・・・国道・府道から広域農道までを結ぶ市道3線(計約1.675km)</p> <p>*事業年度</p> <p>市道:平成17年度~平成20年度</p>						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>H17.7</th> <th>H18.4</th> <th>H19.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"> </td> </tr> </tbody> </table>	H17.7	H18.4	H19.4			
H17.7	H18.4	H19.4						
P 2 0 1行目	<p>農村地域の基礎資源である農地や森林を有効活用した産業再生と自然環境を生かしたふるさと再生には、産業再生や地域生活の向上に資する基盤整備等を行う必要がある。</p> <p>基盤整備にあたっては、道整備交付金を活用し、平成19年度までに市道、平成20年度までに広域農道、林道を整備する。</p>	<p>農村地域の基礎資源である農地や森林を有効活用した産業再生と自然環境を生かしたふるさと再生には、産業再生や地域生活の向上に資する基盤整備等を行う必要がある。</p> <p>基盤整備にあたっては、道整備交付金を活用し、平成20年度までに広域農道、林道、市道を整備する。</p>						
P 2 0 12行目	<p>市道は、国道・府道から広域農道までを結ぶ市道2線を整備することにより、市街地からの交通アクセスが改善され地域生活の利便性が向上する。</p>	<p>市道は、国道・府道から広域農道までを結ぶ市道3線を整備することにより、市街地からの交通アクセス及び山間部における交通ネットワークが強化され地域生活の利便性が向上すると共に府県界線で連結する動線の確保が図れる。</p>						

地域再生計画変更申請新旧対照表 (5/5)

頁	変更前	変更後
P 2 1 図中	<p>3 整備箇所を示した図面</p> <p>市道天野山日野線(L=315m) <u>67,000</u>千円</p> <p>市道唐久谷線 (L=160m) <u>59,800</u>千円</p>	<p>3 整備箇所を示した図面</p> <p>市道天野山日野線(L=315m) <u>53,600</u>千円</p> <p>市道唐久谷線 (L=160m) <u>45,400</u>千円</p> <p>市道平藪線 (L=1,200m) <u>150,000</u>千円</p>
P 2 1 9行目	<p>市道天野山日野線 事業量 L=315m 事業費 <u>67,000</u>千円(交付金<u>33,500</u>千円) 事業期間 平成17年度～<u>19</u>年度</p> <p>市道唐久谷線 事業量 L=160m 事業費 <u>59,800</u>千円(交付金<u>29,900</u>千円) 事業期間 平成17年度</p>	<p>市道天野山日野線 事業量 L=315m 事業費 <u>53,600</u>千円(交付金<u>26,800</u>千円) 事業期間 平成17年度～<u>18</u>年度</p> <p>市道唐久谷線 事業量 L=160m 事業費 <u>45,400</u>千円(交付金<u>22,700</u>千円) 事業期間 平成17年度</p> <p>市道平藪線 事業量 L=1,200m 事業費 <u>150,000</u>千円(交付金<u>75,000</u>千円) 事業期間 平成18年度～20年度</p>
P 2 2 枠右	<p>道整備交付金の活用 (事業総額約<u>3.3</u>億円)</p>	<p>道整備交付金の活用 (事業総額約<u>3.4</u>億7千万円)</p>